

高齢者虐待を防ぐために

多くの方の平均寿命が延びる一方で、残念ながら高齢者への虐待数は年々増加しています。その背景には認知症や自立度の低下した高齢者への介護疲れや、養護者の生活問題などさまざまな要因が考えられます。

養護者は一生懸命介護をしているつもりでも、気が付かないうちに虐待していることがあります。虐待を防ぐことはそれを受けている高齢者だけでなくその養護者を救うことにもなるのです。日頃のあいさつや声掛けが、ストレスなどを感じている養護者や、虐待を受けている高齢者に気付くことにつながります。地域のあいさつや声掛けで、高齢者虐待のサインに気付きましょう。

地域で次のようなサインを見たり、聞いたりしたことはありませんか。一度チェックしてみましょう。

高齢者虐待が疑われるサイン（一例です）

▽高齢者本人のサイン

チェック欄	サイン例
<input type="checkbox"/>	体に小さな傷が頻繁に見られる
<input type="checkbox"/>	急におびえたり、恐ろしがったりする
<input type="checkbox"/>	「怖いから家にいたくない」などの訴えがある
<input type="checkbox"/>	おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどの症状がみられる
<input type="checkbox"/>	経済的に困っていないのに、利用者負担のあるサービスを利用したがない
<input type="checkbox"/>	「預貯金が知らないうちに引き出された」、「通帳がとられた」と訴える
<input type="checkbox"/>	部屋に衣類やおむつなどが散乱している
<input type="checkbox"/>	体からかなりの異臭がするようになってきている
<input type="checkbox"/>	昼間でも雨戸が閉まっている
<input type="checkbox"/>	薬や届けたものが放置されている



▽養護者のサイン

チェック欄	サイン例
<input type="checkbox"/>	高齢者に対して冷淡な態度や無関心さがみられる
<input type="checkbox"/>	他人の助言を聞き入れず、適切な介護をしていない
<input type="checkbox"/>	高齢者の健康や疾患に関心がなく、医師への受診や入院の勧めを拒否する

▽地域のサイン

チェック欄	サイン例
<input type="checkbox"/>	住宅から高齢者や介護者・養護者の怒鳴り声や悲鳴・うめき声、物が投げられる音が聞こえる
<input type="checkbox"/>	気候や天気が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしばみられる

悩み事などの相談は、地域包括支援センターまで連絡してください。

■ 問い合わせ先 地域包括支援センター ☎(48)1111 (内1127・1128)

「ゴミ減量作戦」を実施しよう！⑧

	燃えるごみ総量	1人あたりのg/日
6月	481.50 t	570 g/日
7月	464.15 t	532 g/日
8月	444.33 t	509 g/日
9月	456.32 t	541 g/日
10月	461.33 t	528 g/日
11月	427.77 t	506 g/日
12月	482.11 t	551 g/日
1月	415.36 t	475 g/日

1月分は先月と比べ、燃えるごみの総量は約67t減少し、結果1人あたり76gの減量ができました。燃えるごみ総量・1人あたりのg/日ともにこれまでの最少でした。今後ともごみ削減のため、皆さまのご協力をお願いします。

～不燃ごみ・資源ごみを混入させないで～

家庭用燃えるごみ袋の中に、資源ごみ（空き缶）の混入がありました。分別がしっかりされていないと、

ごみ処理量の増加につながる上、焼却炉の故障など処理に影響が出ます。

今回混入のあった空き缶は、金属資源として、金属部品や新たな缶を作る材料としてリサイクルができるものです。中身を取り除き、軽くすすいでから「資源ごみの日」に出してください。少し手間をかけることで、ごみの削減や限りある資源の有効利用につながります。ごみはしっかり分別して、ごみの減量に努めましょう。



混入していた空き缶

■ 問い合わせ先 建設環境課環境係 ☎(48)1111 (内1211)